

# どんどん広がる キャッシュレス

**硬貨**や紙幣といった現金を使わずに支払いをしたり、受け取りをすることを「キャッシュレス」、あるいは「キャッシュレス決済」といいます。

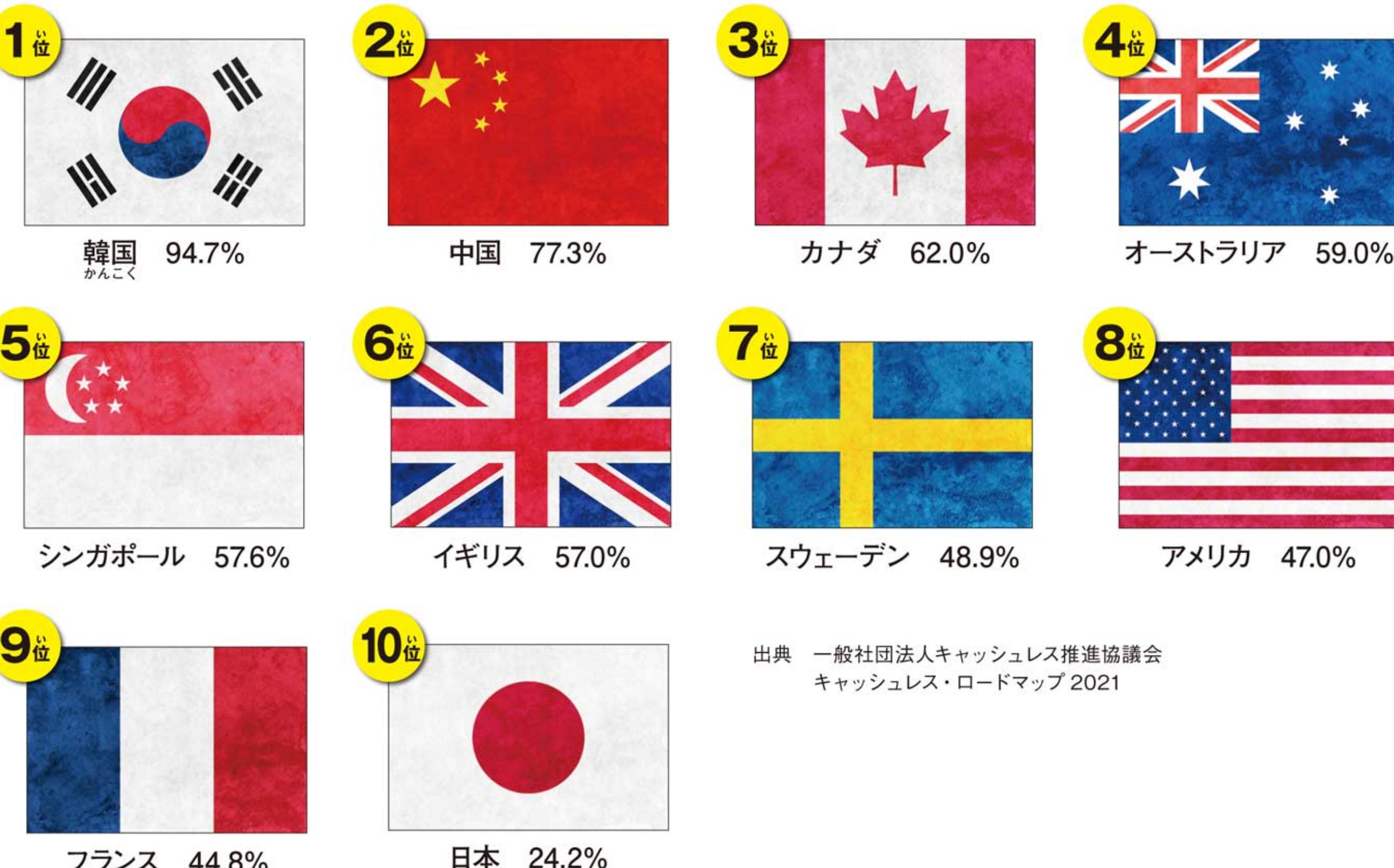
あなたも、コンビニエンスストアや自動販売機で、キャッシュレス決済で買い物をする人を見かけたことがあるはずです。

もっと身近なところでは、駅の改札があります。現金でキップを買うのではなく、自動改札にタッチする交通系ICカードを使う人のほうが圧倒的に多いのです。



## 海外ではキャッシュレス決済がもっと進んでいる

キャッシュレスは、私たちの生活の中でも身近になってきています。でも、海外ではもっと進んでいます。どの国のキャッシュレスが進んでいるのか、ランキングを見てみましょう。



出典 一般社団法人キャッシュレス推進協議会  
キャッシュレス・ロードマップ 2021



アフリカ・ルワンダの食料品店。電子マネーで買い物をする人

# 使い過ぎが心配 キャッシュレス

いろいろな面で便利なキャッシュレスですが、心配な点もあります。それは、つい「使い過ぎてしまう」ことでしょう。

たとえば、現金の場合は、支払うときには実際にお金に触れて、数えて、お店の人に渡すので、「お金を払った」という感覚があります。

また、お金を支払ったあと、お財布の中身が減っているのを目で見てわかりますし、軽くなったのを感じじることもできます。

1680円で  
ございます

これが最後  
のお札…

残り320円  
か…

今月はもう  
使わないよう  
にしよう

キャッシュレス  
って簡単で  
いいな～

もっと買い物  
しちゃおー  
っと

でも、キャッシュレスの場合は、「お金を使った」という実感が湧きにくいので、ついつい使い過ぎてしまうわけです。



キャッシュレスでの使い過ぎを防ぐためには、「いくら使ったか」をいつも気にしてチェックする必要があります。

レシートには使った金額が印刷されています。また、「あといら

使えるか」という残りの金額が印刷されている場合もあります。

現金でもキャッシュレスでも、「お金を使っている」ことに変わりはありません。それをちゃんと意識するのが、とても大切なことです。

現金でもキャッシュレスでも、買い物をしたらレシートはちゃんととっておきましょう。



そして、買った物が本当に必要だったかどうかを考える時間を必ず持ちましょう。  
\*のどが渴いて、つい買ってしまったジュース……「そういえば、近くに水飲み場があったな」  
\*おいしそうで、つい買ってしまったお菓子……「家までもう少し我慢すれば、おやつを食べられたな」  
\*友だちが買っていたから、つられて買ったノート……「本当にそれがほしかったのかな」  
そんなふうに考える癖がつけば、無駄遣いを減らせます。もちろん、一番大事なのは、**買い物をする前に、本当に必要かどうか**をされることです。



## おこづかい帳をつけよう！

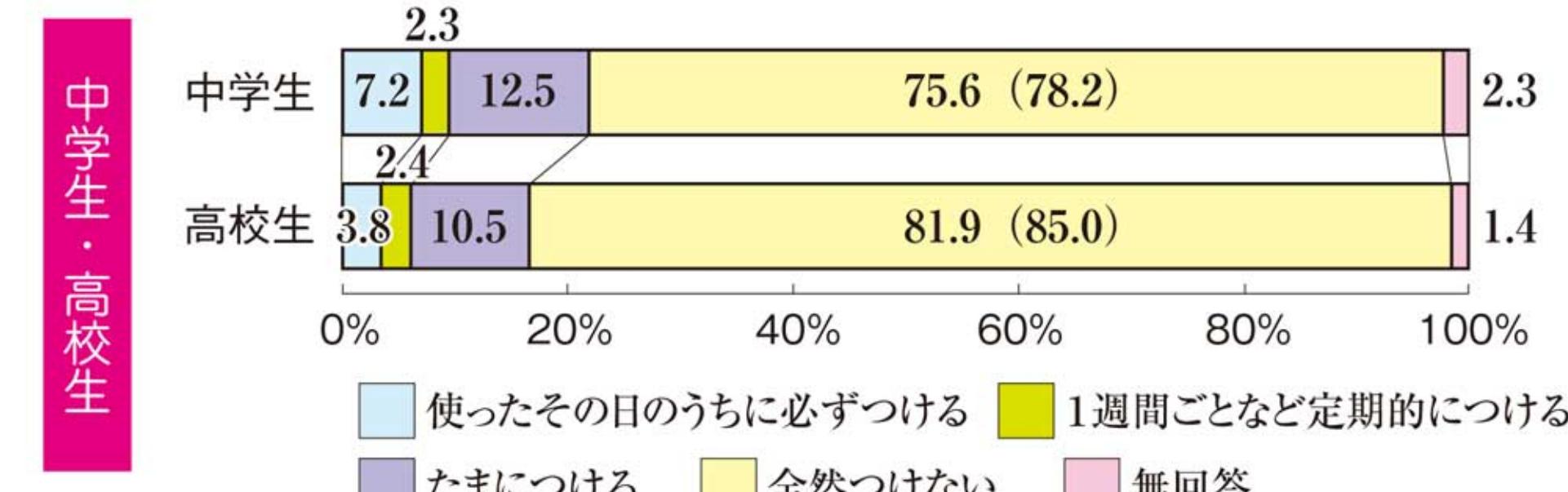
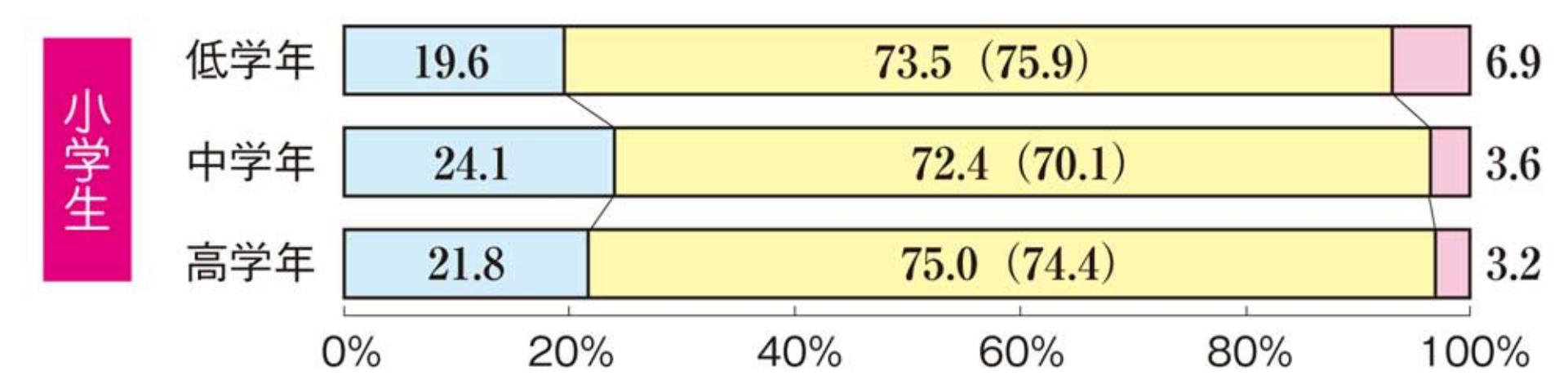
あなたは、おこづかい帳をつけていますか。もしつけていなかったら、今日からチャレンジしてください。

一つ、何に、いくらお金を使ったかを書くだけで、無駄遣いが減らせます。そして、気づかぬうちに、「上手にお金を使える人」になれます。

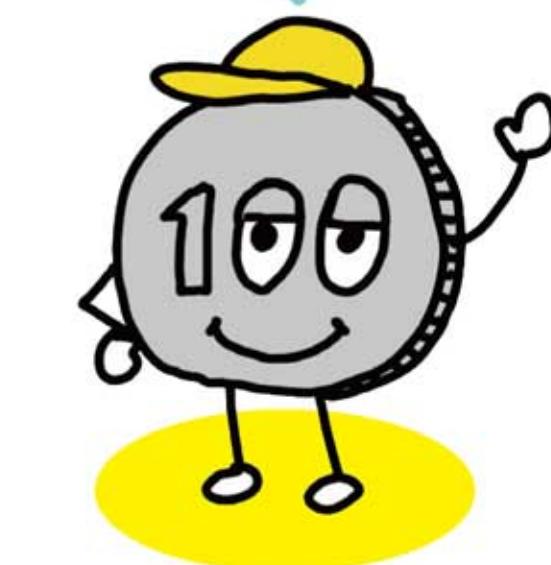
おこづかい帳は100円ショップでも売っていますし、パソコンでダウンロードもできます。



### ●おこづかい帳をつけているか



ボクは  
ちゃんとつけてる  
チャリン



金融広報中央委員会  
・子どもの暮らしとお金に  
関する調査（第3回）2015年度

（注）（ ）内は、前回調査（平成22年度）の結果。

# 改札でピッ！の秘密

みなさんは電車に乗るときにキップを買いますか、それとも交通系 IC カードを使うでしょうか。交通系 IC カードとは、日本各地の鉄道会社が発行している電子マネーのことです。電車は乗車距離によって料金が変わりますが、「〇〇駅まではいくらかな？」と調べずに支払いができる交通系 IC カードはとても便利ですね。でも、どうしてピッとタッチするだけで支払いができるのでしょうか。

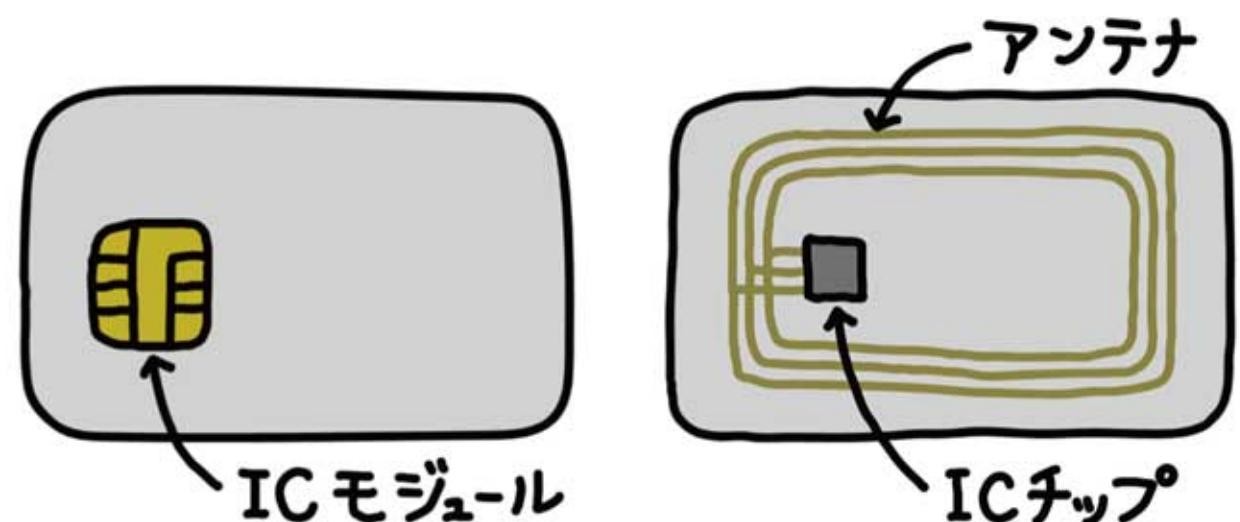


バスでも使われる交通系 IC カード



地域によって種類が違う

## 改札でピッ！の瞬間、何が起きているの？



カードをタッチするだけで改札を通れます。改札でピッ！の瞬間に、自動改札はカードのいろいろな情報を読み取っています。たとえば、どこの駅から乗ってきたのか、料金はいくらか、カードのお金は足りているか……。その情報を元に、一瞬でゲートを開けたり閉めたりしているのですから、すごい技術ですね。しかも、カードを機械に近づけるだけで反応しているのです。カードに電池が入っているわけでもないのに、どうしてこんなことができるのでしょうか。簡単に説明すると、カードの中には電波をキャッチするためのアンテナのようなものが入っています。そして、改札についている読み取り機（カードリーダー）からは電波が発生しています。そのため、カードを近づけると電波をキャッチして、さまざまな情報をやりとりできるのです。この技術のおかげで、電車が混み合う時間帯でもスムーズに改札を通過するようになりました。また、知らない場所で路線図を見ながらキップを買うという不便さも減らすことができたのです。



自動改札がなかった頃は、駅員さんがキップを一枚ずつ切っていた